

# 防災通信 42号

発行日	2016年3月15日
発行責任者	大分県防災活動支援センター 理事長 廣瀬 一策
ホームページ	<a href="http://opdo.sakura.ne.jp/">http://opdo.sakura.ne.jp/</a>

## 大分県自主防災組織活性化支援センター

### 防災士スキルアップ研修

2月14日(日) 中津市 中津市役所3階会議室 10:00~

題目: 防災訓練手法について

1. 訓練計画作成の手法
2. 個別防災訓練の目的と実践方法について

講師: 廣瀬一策 理事長

2月24日(水) 九重町 九重町文化センター 19:00~

題目: 避難所運営基礎講座及びワークショップ

講師: 清松幸生 事務局長

参加者22名

講座の後、4~5人単位で5班に分かれて「避難所での生活ルール」についてGr討議。最後に発表して終了しました。

2月27日(土) 杵築市

一木公民館/講話10:00~一木研修所/実技研修 11:00~

題目: 家具固定について 座学・実技

講師: 財前賢治 理事、山村利貞 理事

参加者16名 杵築市防災士会の役員

杵築市防災士会の役員さんを中心に市のバスで来場。財前講師の講話については、別府湾の断層が杵築市に及ぼす影響等を含めて、家具固定の必要性を訴える内容で研修生も熱心に受講していた。実技は山村講師が懇切丁寧に指導。質問があれば石本講師に聞く場面もあり、連携のとれた講義でした。

### 防災アドバイザー業務

2月14日(日) 大分市河原内高城防災会 防災研修 DIG

大分市河原内高城自治公民館 10:00~ 一水、挟間

参加者67名

河原内川を中心に両側から山が迫る、約60世帯、120名程が暮らすのどかな山間地。高齢化も進み高齢化率60%近くになっており、殆ど老々介護の状態。周囲はがけ崩れ、土石流の危険箇所が多く、安全だと思える場所は1ヶ所しかない。通常の台風でも、県道ががけ崩れで通れなくなるような所。避難する場合は、自宅2階。2階が無ければ、近くの住宅へ避難すること。より安全なのは、本当に土砂災害警戒情報が出たら、早目に相談して避難する。「自助・共助」を強調した。

2月14日(日) 大分市亀甲自主防災会防災研修

大分市堂園地区亀甲自治公民館 10:00~ 財前、宇田

大野川と乙津川に挟まれた中洲の街。昔から水害の多発地域で、「輪中」と呼ばれる、屋敷を一段高くしている光景が見られるところ。堤防が整備され、昔のような水害は起きないと考えられるが、近年温暖化の影響もあり、台風は大型化し、集中豪雨も発生回数が増加しており、これまで経験したことのないレベルの災害が発生する恐れがある。鬼怒川水害を見てきた財前理事が講話をした。

#### 【お知らせ】

平成28年度の総会は、  
5月1日(日) 10:00~15:00 大野川防災センターにて開催される予定です。

2月14日(日) 大分市敷戸校区防災会防災研修 講話

大分市敷戸校区公民館 10:00~ 清松事務局長

大分市内でも古い団地。従って古い家が多く、地震に耐えきれずに倒壊する家屋が出てくる。そうした時には避難所生活になるし、津波浸水区域からの避難者も避難所に来るはず、その時のために「避難所の運営と留意点」について教えて戴きたいとの依頼。

2月26日(金) 大分市田中町防災会防災研修 講話

南大分中公民館 10:00~ 廣瀬理事長 参加者55名

「ふれあいサロン」高齢者の集いで防災研修。豪雨時の浸水は懸念される区域ではあるが、これといって危険な箇所のない所で、住民の意識は至って低い。しかし、地震時の液状化危険区域であることは意外と知らない方が多い。南海トラフ地震がもし発生したらどうなるのか?海溝型地震の揺れは強く、長いことを映像で見て戴き、注意喚起を促した。

### 大分県版 災害・避難カード事業

2月21日(日) 住民対象の防災学習会 参加住民48名

竹田市南部小学校体育館 10:00~ (参加率≒60%)

「自然災害について」と題して土砂災害、水害を中心に学習。その後、避難カード作成の為にデータを世帯ごとに記入して戴いた。当日参加されてない世帯は後日、下矢倉自治会と防災士の方々が個別訪問をして記入して戴くことにした。

学習会の前に、水害の元である玉来川、矢倉川を地元の防災士にお願いして案内して戴いた。川幅が狭く、橋、鉄橋が随所にあり、その桁に流木がかかり、水をせき止めて周辺にあふれ出して、家屋が水没したり、流されたりした水害が過去に何度もあり、地域住民が苦勞している現状がある。

君ヶ園地域は、矢倉川流域にあり、玉来川と合流地点が近い。ため、バックウォーター現象で、矢倉川が氾濫、水害を被るところである。周辺には、急傾斜崩壊危険区域、土石流危険区域もあり、大雨次第では土砂災害も懸念される地帯。

住民の方々は防災意識の高い方もおられるが、水害の影響を受けてない方々については、やはり自分事と考えてない人たちがいるようである。参加率がそれを表している。世帯すべてに掲示用避難カード・携帯用避難カードを配布する予定ですが、防災力向上に役立てれば、この事業も成功である。

### 豊後高田市の事業

2月14日(日) 本町2区防災研修

本町2区集会所 13:30~ 参加者15名

2月21日(日) 河内地区(10自治会) 防災研修

河内小学校 10:00~ 参加者180余名

3月6日(日) 香々地2-1地区防災研修

堤公民館 9時~ 参加者35名

### 大分県防災活動推進交流会

去る2月25日(土)、大分県庁に防災士会役員、自主防災組織役員、市町村防災担当職員が集い、今年度の標記交流会が開催されました。これは、地域の防災活動促進に向けて、地域の課題の共有を図り、意見交換を行うものです。第1部では、「防災士ネットワーク化と活動促進について」と題し、杵築市が取り組んだ防災士協議会の立ち上げのノウハウ、苦勞話などが紹介されました。第2部の意見交換会では、活動内容のマンネリ化、研修の参加率低迷、防災士同士の連携など、事前アンケート集計内容をもとにした課題について議論が展開されました。

(一水 記)